

EEX日本電力先物

2021年3月

EEX 上席アドバイザー 高井

› eex

› epexspot

› eexasia

› nodal

› ecc

› nodalclear

› grexel

› pxe

EEX Group – 概要

エネルギー取引所

- European Energy Exchange (EEX): 欧州を中心に展開するエネルギー取引所。
- 安全で流動的かつ透明性の高いエネルギーとコモディティの市場を運営。

取り扱う資産と市場



電力



グローバル
コモディティ



農産品



天然ガス



環境関連



取引登録サービス

クリアリングサービス

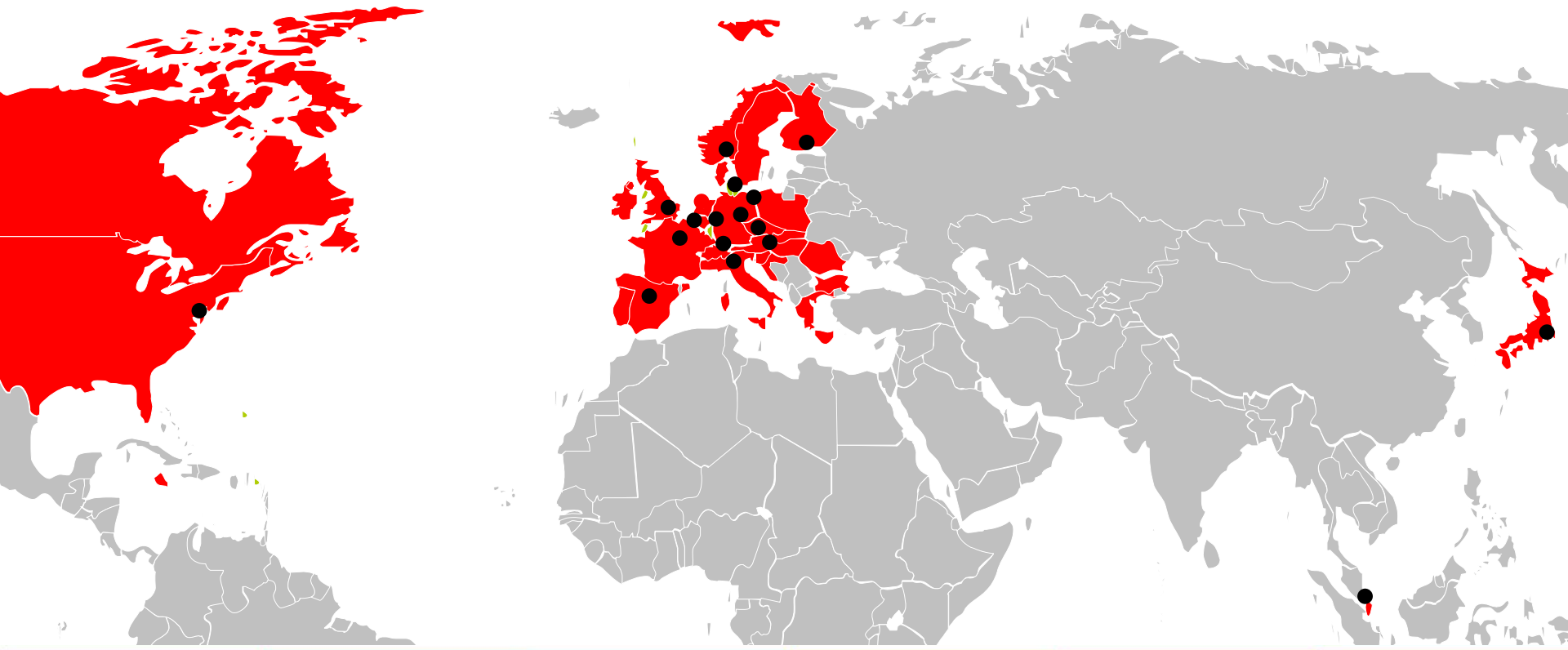
- 清算及び決済は、クリアリングハウスであるEuropean Commodity Clearing (欧州、アジア) とNodal Clear (米国)によって実施。

株主

- EEXはドイツ取引所 (Deutsche Börse) グループの傘下 (75,05%)
- 地方自治体 (例: Saxony州, Leipzig市) (7,94%)
- 産業、エネルギー、金融機関等の少数株主 (例: Uniper、EnBW、EdF) (17,03%)



EEX Group – グローバル拠点



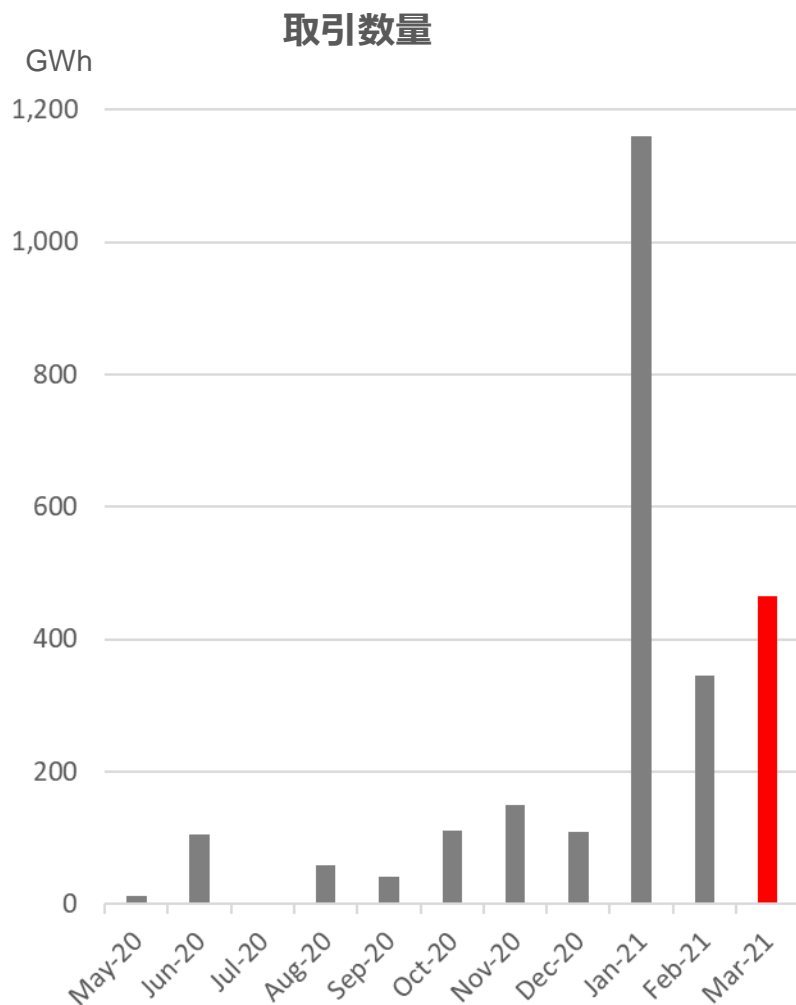
#1
in Power
Trading Worldwide

#1
in Dry Freight Trading
Worldwide

#2
in Emissions Trading
Worldwide

EEX日本電力先物の取引状況

出来高は急増、リーディング市場の地位を確固たるものに



※2021年3月の取引数量は3/1～3/12まで。

- EEXは、2020年5月18日に日本電力先物のクリアリング（清算）サービスを開始。
- **取引開始以来11ヶ月で、2.6 TWh（26億kWh）の取引が成約。**2021年1月は1TWh（10億kWh）を超える過去最高を記録。
- **現時点の取引参加者数は17社（日本+海外）。**日本、シンガポール、イギリス、アイルランド、フランス、ドイツ、スイス、デンマーク、米国から参加。新年度早々には20社見込み。
- 取引種別も、**週間・月間・四半期・季節・年間**と多様性に富んだ期間で売買が拡大、エリアでも関西でも成約件数が増加。
- 取引促進のため、取引開始以来1年間の**2021年4月末まで取引手数料と清算手数料を免除。**
- EEXの**先物カーブが業界内でベンチマーク化**しつつあり将来の価格予見性に寄与している。

EEX日本電力先物 商品の概要

東京エリア

関西エリア

週

ベース / ピーク

最大5週間

月

ベース / ピーク

最大7か月

四半期

ベース / ピーク

最大
7四半期

シーズン

ベース / ピーク

最大
4シーズン

夏：4月～9月
冬：10月～3月

年

ベース / ピーク

最大
6年

商品の仕様：

通貨： 日本円

価格設定： 日本円/kWh

呼値

単位： 0.01円/kWh

取引単位： 1 MW(1,000kW)
* 受渡期間の時間数

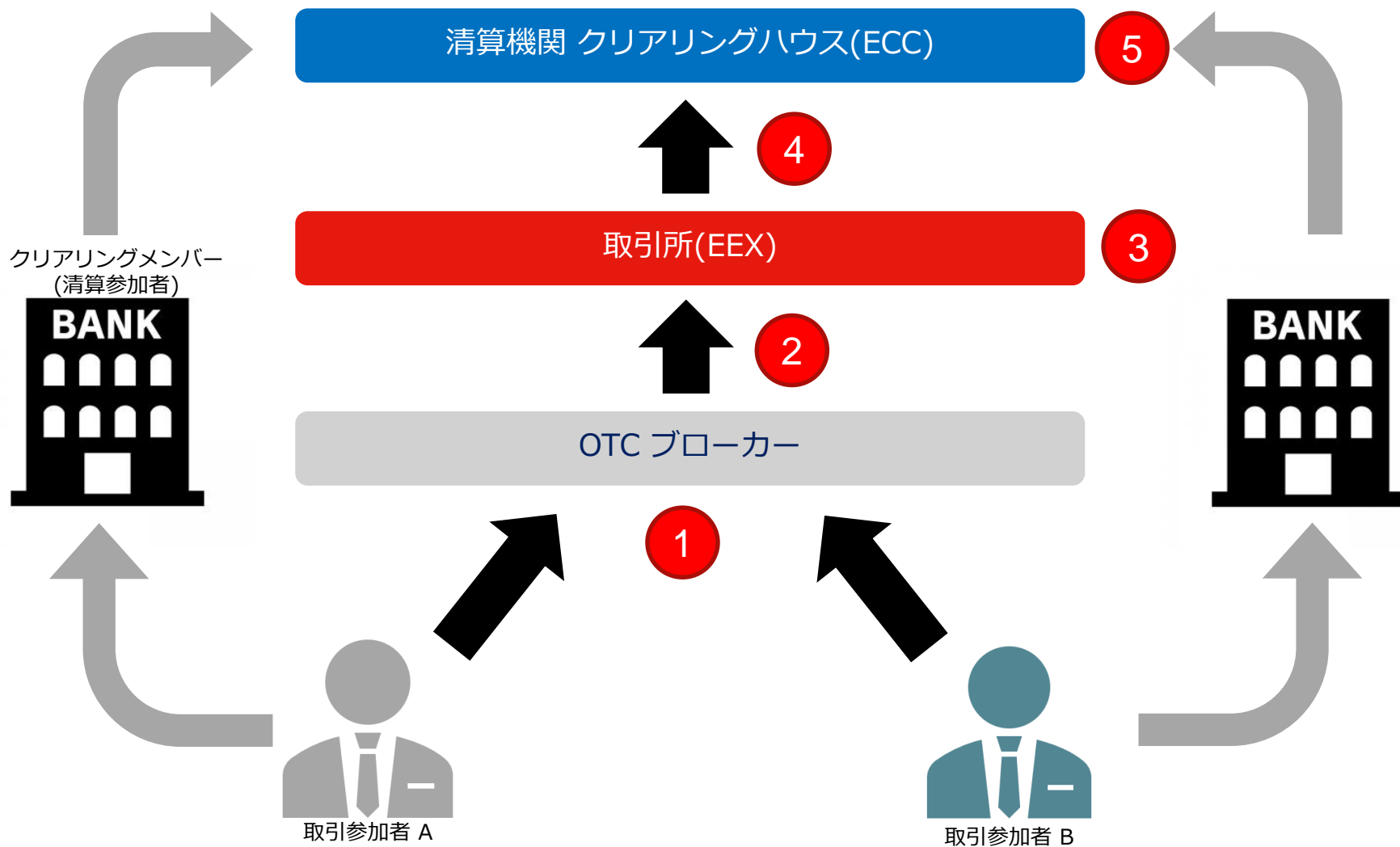
最小取引規模： 1取引

- ピークロードの定義：月～金 午前8:00～午後8:00（日本の祝日を除く）

*EEXは、ピークロード契約に日本の祝日カレンダーを採用します。

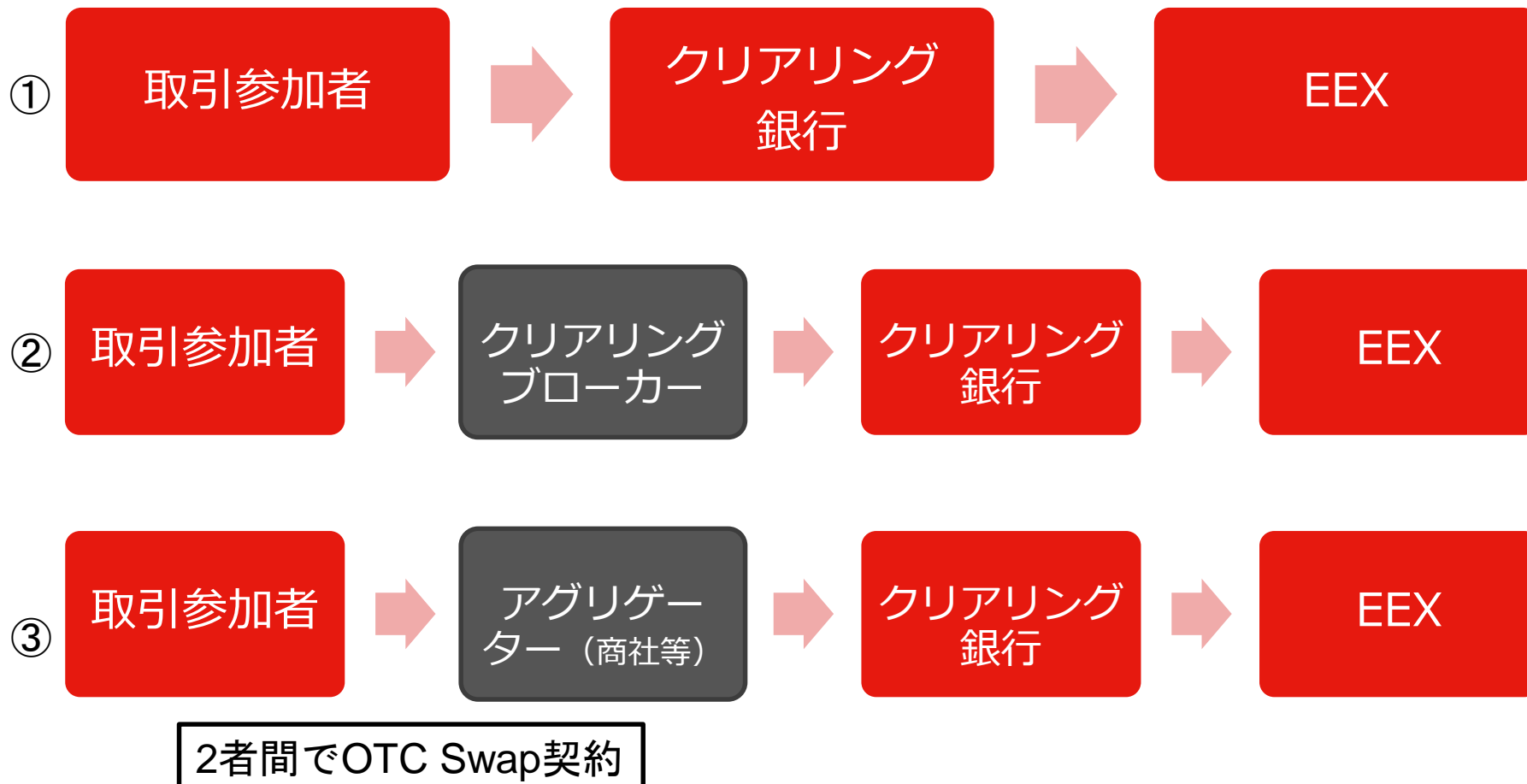
取引参加者と清算機関（ECC）の関係

参加者の債務不履行リスクの防波堤



EEX電力先物への参加方法

直接参加（① or ②） 間接参加（③）



日本の電力市場拡充に弊社が貢献できること

1. 市場透明性の向上

- ✓ オーダーブック（立会取引：マッチングサイト）の提供
- ✓ 市場データ透明性向上プラットフォームの提供

2. 燃料先物商品の拡充

- ✓ 欧米市場にて、天然ガスの現物・先物を上場（+JKM）
- ✓ 日本においても、LNG・JCC・JLC・その他燃料の上場を検討

3. 排出権取引のインフラ構築のお手伝い

- ✓ EU域内における排出権の一次オークションを運営
- ✓ ニュージーランドで排出権の取引メカニズムを提供

4. スポット市場におけるクリアリングサービスの提供

- ✓ 欧州の電力・ガス現物スポット市場におけるクリアリングの実績
- ✓ 日本のJEPXスポット市場とのクリアリング協業の可能性

（補足 1）先物は相場リスクをマネージするツール

常時リスク量を体力の範囲内に収めること

【リスク量<自社の体力】 リスク管理の基本原則

先物・スワップ・オプション等の**デリバティブズはリスク量を調整するツール**に過ぎない

その為には、電力事業者の**リスク計測と可視化**を励行し、リスク量が体力を超えている事業者については、**リスクの積極的なマネージ**を推奨する

その上で、事業者への**定期的なリスクモニタリング**などを通じて、体力を超える過度なリスクテイクがないかをチェックできれば**大きな相場変動による被害を未然に防止する一助**となろう

（補足 2） EEXが電力先物で選ばれる理由

弊所の出来高が伸びている背景

弊所は**リスクテイカー層を厚くすることで流動性を創出し**、ヘッジヤーが価格リスクをヘッジしたい時に常にそのリスクを引き受けてくれるリスクテイカーがいる状態を作りたい。

幸い弊所には長年欧州市場で**EEXの使い勝手に慣れ親しんだ電力トレーダーが多数存在**し彼らは抵抗なく日本電力先物にも参入し流動性の提供者となっている。

今後は日本企業からもリスクテイカーを増やし**電力事業者の皆さんがヘッジし易い環境づくり**を目指していきたい。